

花矢図書館だより

1 2024



おすすめ 新着図書

一般書

- 死ぬまで好奇心! (河北義則)
- 昭和天皇の戦争 (山田朗)
- メイクがなんとなく変なので友達美容部にコツを全部聞いてみた
- 冷凍レンチンパック
- Shrink～精神科医ヨワイ～ (11)
- ちいかわとおきのナソトキ
- をんごく (北沢陶)
- 本の背骨が最後に残る (斜線堂有紀)
- 藍色時刻の君たちは (前川ほまれ)
- ロボット・イン・ザ・システム (デボラ・イストゥル)

児童書

- 思考理科 (1・2)
- 頭がよくなるなぞなぞチャレンジ!
- ペンたと小春の腹がたつなぞなぞ
- 3分間サバイバル (10)
- 1話ごとに近づく恐怖百物語 (5)
- ゆみちゃん (小手鞠るい)
- 10歳までに読みたい世界名作
- 絵本 しあわせなクリスマス
- 絵本 パンどろぼうとほっかほっかー

今月のスタッフいちおし!

一般 『小公女たちのしあわせレシピ』 谷瑞恵 // 著

野花つぐみは、実家のリフォームに伴い帰省した際に、手書きのお菓子のレシピがはさまった本『小公女』を見つける。レシピは物語に登場する「ぶどうパン」だった。それは、謎だらけの老女・メアリさんの遺品だった。どうやらその本は、彼女だけではなく、この街のさまざまな人に届けられたようだ。つぐみの本探しとお菓子作りは、人々との縁をやさしく結んでいく。

児童 『かがくのふしぎ100』 川村康文 ほか // 著

今まで、「なんで?」「どうして?」ってふしぎに思ったことはあるかな? 「おなかの鳴るのはどうして?」「魚もねるの?」「雲はどうやってできるの?」そんな身のまわりの100この「なんで?」に答えちゃうこの本。どうぶつのことから食べもの、体、宇宙のことまで、探していた答えが見つかるかも。おうちで出来る実験も紹介されているから、気になったらためしてみよう。

お知らせコーナー

今日のテーマ展示は

大人向け 『龍』

龍の登場する本を展示します

子ども向け 『チャレンジしよう!』

新しい年の始まり、今年は何なことにチャレンジする?



花矢図書館定例

『おはなひ会』

1月10日(水) 10:30～11:00

場所/花矢図書館 児童室

*延期や中止になる場合がございますので、予めご了承ください。

～ 百人一首で遊ぼう! ～

1月11日(水) 10:00～12:00

場所/花矢図書館 児童室

花岡なかよしキラキラクラブのみなさんが参加します!
見学は自由です!!

1月のこぼれ話

お年玉

お年玉の語源は、正月に年神を迎えるために供えられた、丸い鏡餅が家長によって子供に分け与えられ、その餅が「御歳魂(おとしだま)」と呼ばれたことから、とする説があります。

そもそもお正月行事というのは、新年の神様である「年神」を家に迎えるための行事です。年神は、新しい年の幸福や恵みとともに、私たちに魂を分けてくださると考えられてきました。その年神の魂が、お供え物である鏡餅に宿り、そのお餅を分け与えることで、子供の無事な成長を願うという意味もあったようです。今のようにお金を贈るのが一般的になったのは昭和30年代後半頃からなのだそうです。

